

中央区 子ども・子育て支援新制度に おける利用希望把握調査 調査票

〈就学前児童用〉

本調査は、子育て家庭の皆様の幼稚園や保育所、現在の子育て支援サービスの利用状況や今後の利用希望をおうかがいし、これからの施設整備やサービスの実施に反映させるためのものです。

お答えいただく方は、区内にお住まいの就学前児童を持つ保護者の中から無作為に選ばせていただきました。お答えいただいた内容につきましては、調査の目的以外には使用することはありません。

なお、ここでお答えいただいた内容は、施設やサービスの具体的な利用の可否を確認・決定するものではなく、現在利用しているサービスの継続判定にも使用することはありません。

また、調査票は無記名となっており、調査結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることは一切ございません。

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のお子さんの保護者の方に回答のご記入をお願いいたします。
2. ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンをお願いいたします。
3. 問1から順に質問ごとに用意した回答項目の中から、あてはまるものの番号を○で囲んでください。「その他（ ）」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は矢印（⇒）で示したり、説明文がありますので、該当する方のみお答えください。
5. ご記入の際には、別紙の【主な施設・事業の一覧】を参照してください。
6. ご記入いただきました調査票は、11月15日（金）までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】

中央区 福祉保健部 子育て支援課 子育て施策推進主査
電 話：03-3546-5681

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育：問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼稚園や保育施設等で実施する幼児期の教育の意味で用いています

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

京 橋	1. 八重洲二丁目	2. 京橋	3. 銀座	4. 新川	5. 八丁堀
	6. 新富	7. 入船	8. 湊	9. 明石町	10. 築地
	11. 浜離宮庭園				
日本橋	12. 馬喰町	13. 小伝馬町	14. 大伝馬町	15. 横山町	16. 東日本橋
	17. 本石町	18. 室町	19. 茅場町	20. 兜町	21. 八重洲一丁目
	22. 日本橋	23. 小舟町	24. 人形町	25. 小網町	26. 蛸殻町
	27. 浜町	28. 箱崎町	29. 中洲	30. 富沢町	31. 久松町
	32. 堀留町				
月 島	33. 佃	34. 月島	35. 勝どき	36. 豊海町	37. 晴海

2. 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

平成			年			月生まれ	〔例〕平成			年			月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------	-------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

お子さんの数		人	末子の生年月	平成			年			月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 あて名のお子さんの家庭での子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 主に母親	2. 主に父親	3. 父・母とも同じくらい
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

4. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。1から6のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。

【母子家庭の場合は記入は不要】

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	* フルタイム：週5日程度・1日8時間程度の就労
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	* パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	

【1から4に○をつけた方全員にうかがいます】

⇒ 1週当たりの平均的な「就労日数」、1日当たりの平均的な「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

⇒ 平均的な家を出る時間帯と帰宅時間帯をお答えください。

家を出る時間 時台 帰宅時間 時台

（例）08時、17時
のように、24時間制で
お答えください。

【3または4に○をつけた方にうかがいます】

⇒ フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ① フルタイムへの転換希望があり、具体的な就職活動を行っている、または職が決まっている
- ② フルタイムへの転換希望はあるが、今のところ具体的な就職活動は行っていない
- ③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

【5または6に○をつけた方にうかがいます】

⇒ 就労したいという希望はありますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。

- ① 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）

② 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

③ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

問 10 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。1 から 6 のうち当てはまる番号 1 つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。

【父子家庭の場合は記入は不要】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | *フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労 |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | *パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労 |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |

【1から4に○をつけた方全員にうかがいます】

⇒ 1週当たりの平均的な「就労日数」、1日当たりの平均的な「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

⇒ 平均的な家を出る時間帯と帰宅時間帯をお答えください。

家を出る時間 時台 帰宅時間 時台

（例）08時、17時
のように、**24時間制**でお答えください。

【3または4に○をつけた方にうかがいます】

⇒ フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ① フルタイムへの転換希望があり、具体的な就職活動を行っている、または職が決まっている
- ② フルタイムへの転換希望はあるが、今のところ具体的な就職活動は行っていない
- ③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

【5または6に○をつけた方にうかがいます】

⇒ 就労したいという希望はありますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。

① 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）

② 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

③ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

5. あて名のお子さんの平日の定期的な教育及び保育の施設・事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育及び保育の施設・事業」とは、月単位で定期的に利用している施設・事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 11-1 に示した施設・事業が含まれます。

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育及び保育の施設・事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 11-1 〜 2. 利用していない ⇒ 問 11-8 〜

問 11-1 〜 問 11-7 は、問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育及び保育の施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設・事業をお答えください。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

<別紙【主な施設・事業の一覧】の「1. 定期的な教育及び保育の施設・事業」をご覧ください。>

1. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用）
2. 私立幼稚園又は中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用）
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 認証保育所
6. 家庭福祉員（保育ママ）
7. 事業所内保育施設
8. その他の認可外の保育施設（ベビーホテル、スポーツ・語学に特化した幼児園など）
9. その他（ ）

問 11-2 問 11-1 でご回答いただいた施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠内に一字）。

問 11 1 の 事 業	(1) 現在
	1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間 (□ □ 時 ~ □ □ 時)
	(2) 希望
	1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間 (□ □ 時 ~ □ □ 時)

問 11-3 問 11-1 で回答した「定期的な教育及び保育の施設・事業」に加えて利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(定期的な利用に限ります。一時的な利用については問 18 で別途うかがいます。)

<別紙【主な施設・事業の一覧】の「2. 子育て支援事業」をご覧くださいのうえご回答ください。>

1. 幼稚園の預かり保育 ※
2. 保育所の延長保育 ※
3. ベビーシッター (居宅訪問型保育)
4. ファミリー・サポート・センター
5. 子ども家庭支援センターなどの一時預かり保育
6. その他 ()
7. 特になし

※幼稚園の預かり保育は、「一時利用」でも毎週決まった曜日にコンスタントに利用しているような場合は「定期的な利用」となりますので、○をつけてください。

※保育所の延長保育は、「スポット利用」でも毎週決まった曜日にコンスタントに利用しているような場合は「定期的な利用」となりますので、○をつけてください。

問 11-4 問 11-3 でご回答いただいた施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□内に具体的な数字でご記入ください (数字は一枠内に一字)。2 つ以上に○をつけた場合は、最も多く利用しているものについてご記入ください。

問 11 - 3 の 事 業	(1) 現在								
	1 週当たり	□	日	1 日当たり	□	□	時間	(	□ □ 時 ~ □ □ 時)
	(2) 希望								
	1 週当たり	□	日	1 日当たり	□	□	時間	(	□ □ 時 ~ □ □ 時)

問 11-5 現在、利用している教育及び保育の施設・事業の実施場所についてうかがいます。「1.」もしくは「2.」の①~⑥のいずれかに○をつけてください。

1. 中央区
2. 他の区、市等 → ①港区 ②千代田区 ③台東区 ④墨田区 ⑤江東区 ⑥その他 ()

問 11-6 平日に定期的に教育及び保育の施設・事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 家庭での子育てをしている方が現在就労している
3. 家庭での子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 家庭での子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 家庭での子育てをしている方が病気や障害がある
6. 家庭での子育てをしている方が学生である
7. その他 ()

問 11－3 で「1. 幼稚園の預かり保育」を利用しているに○をつけた方にうかがいます。

問 11－7 父親・母親のいずれかが就労している方にうかがいます。現在の幼稚園における預かり保育の利用状況について、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 現在、ほぼ毎日預かり保育を利用している
2. 現在、1 週当たり 3、4 日程度預かり保育を利用している
3. 現在、1 週当たり 1、2 日程度預かり保育を利用している

問 11 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 11－8 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母または父がみている
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもが小さいうちは、家庭で過ごす時間を大切にしたい
9. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
10. その他（)

すべての方にうかがいます。

問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育及び保育の施設・事業として、「定期的に」利用したいと考える施設・事業の番号すべてに○をつけてください。

1. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用）
2. 私立幼稚園又は中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用）
3. 認可保育所（定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園
5. 認証保育所
6. 家庭福祉員（保育ママ）
7. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）
8. 事業所内保育施設
9. その他の認可外の保育施設
10. その他（)

問 12-1 施設・事業を選ぶ上で重視する条件について、3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 幼児期に必要な教育が適正に行われている	7. 保育料が適切である
2. 教育・保育の特色や方針が希望にあう	8. 親が運営・行事に関わる機会が多い
3. 教員・保育士の質が高い	9. 親が運営・行事に関わる機会が少ない (親の負担が軽い)
4. 施設や設備が充実している	10. 自宅からの距離が近いなど立地条件がよい
5. 保育時間が利用希望にあう	11. その他
6. 認可されている施設である	()

問 12-2 問 12 で選んだもののうち、第一希望の施設・事業について、1 週当たりの利用希望日数、1 日当たりの利用希望時間をご記入ください。

1 週当たりの利用希望日数	日	1 日当たりの利用希望時間	時間
---------------	------------------------	---------------	--

問 12-3 問 12 で選んだ施設・事業に加えて、定期的に利用したい事業があれば、すべて選んで番号に○をつけ、第一希望の事業について、1 週当たりの利用希望日数、1 日当たりの利用希望時間をご記入ください。

1. 幼稚園の預かり保育			
2. 保育所の延長保育			
3. ベビーシッター（居宅訪問型保育）			
4. ファミリー・サポート・センター			
5. 子ども家庭センターなどの一時預かり保育			
6. その他 ()			
→ 第一希望事業の 1 週当たりの利用希望日数	日	第一希望事業の 1 日当たりの利用希望時間	時間

問 12-4 教育及び保育の施設・事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 中央区 ⇒ 問 13 へ	2. 他の区、市等 ⇒ 問 12-5 へ
-----------------	----------------------

問 12-4 で「2. 他の区、市等」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-5 他の区、市等を利用したい理由は何ですか。

理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の区、市等にある施設の方が自宅から近いから	
2. 定員に空きがあるから	
3. 保護者の勤務場所に近い施設を利用したいから	
4. 経済的な理由（利用料、保育料が安い）から	
5. 延長・夜間等の時間帯の条件が合う事業があるから	
6. 事業の質が良い（納得できる内容で運営しているから）	
7. その他 ()	

6. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について うかがいます。

問 13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、必要な時に利用したいと思うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○をつけてください。

事業名		A 知っている ものに○	B 利用したことが あるものに○	C 今後必要な時に 利用したいもの に○
保健所・保健センター	①離乳食、子育て支援などの講習会			
	②プレママ教室（母親学級）、 パパママ教室（両親学級）			
	③乳幼児健康相談（フリー乳健）			
	④ママのこころの相談			
	⑤子育て、発達、栄養、歯科などの相談			
	⑥妊婦健康診査			
	⑦新生児訪問指導（赤ちゃん訪問）			
子ども家庭支援センター	⑧子育て交流サロン「あかちゃん天国」※			
	⑨一時預かり保育※			
	⑩育児支援ヘルパー			
	⑪子育て支援講座			
	⑫子育て相談			
	⑬子どもショートステイ			
	⑭トワイライトステイ※			
	⑮病児・病後児保育			
	⑯緊急一時保育援助事業			
	⑰ファミリー・サポート・センター※			
⑱中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会				
⑲教育センターの教育相談				
⑳赤ちゃん・ふらっと				
㉑子育てガイドブック				

※⑧子育て交流サロン「あかちゃん天国」は築地児童館、堀留町児童館、浜町児童館、月島児童館、晴海児童館でも実施

※⑨一時預かり保育は晴海こども園、京橋こども園でも実施

※⑭トワイライトステイは京橋こども園でも実施

※⑰ファミリー・サポート・センターは社会福祉協議会に委託して実施

あて名のお子さんの年齢が0歳から3歳になった最初の3月31日までの間にある方にうかがいます。

⇒該当しない方は問15へ

問14 地域子育て支援拠点事業（子育て交流サロン「あかちゃん天国」）の利用状況について、当
てはまる番号すべてに○をつけ、□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 子育て交流サロン「あかちゃん天国」を利用している

⇒ 1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度

2. すでに利用しており、今後利用日数を増やしたい

⇒ 1週当たり 更に □ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □ 回 程度に増やしたい

3. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいとは思わない

4. 利用していないが、今後利用したい

⇒ 1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度

5. 今も利用していないし、今後も利用したいと思わない

問 16 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 週に数回仕事が入るため | |
| 2. ふだん済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 家族、親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. その他（ | ） |

8. あて名のお子さんの病気やケガの際の対応についてうかがいます。

問 17 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガをしたことはありますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. あった ⇒ 問 17-1 へ | 2. なかった ⇒ 問 18 へ |
|-------------------|------------------|

問 17-1 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガをした場合にとった対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。父親が半日、母親が半日交替で休んだ場合でもそれぞれ 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

1 年間の対処方法	日数	
ア. 父親が仕事を休んで子どもを看た	日程度	⇒問 17-2 へ
イ. 母親が仕事を休んで子どもを看た	日程度	
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	日程度	
エ. 区の病児・病後児保育を利用した	日程度	⇒問 17-4 へ
オ. （同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	日程度	
カ. 民間の訪問型病児保育サービスを利用した	日程度	
キ. ベビーシッターのサービスを利用した	日程度	
ク. その他（	日程度	

問 17-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 17-2 その際、「できれば区の病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

なお、区の病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかり、入室前診断が必要となります。

- | | | |
|-----------------------------|---|------------|
| 1. できれば区の病児・病後児保育を利用したいと思った | ⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 日程度 | ⇒ 問 18 へ |
| 2. 利用したいとは思わなかった | | ⇒ 問 17-3 へ |

問 17-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-3 「利用したいとは思わなかった」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気の際は子どもの看病をしたい
2. 病気の子どもを他人に看てもらうのは不安
3. サービスの質に不安がある
4. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない
5. 利用手続きが煩雑で面倒
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない
8. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない
9. その他（

） ⇒ 問 18 へ

問 17-1 で「エ。」から「ク。」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 17-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。思われた方は、「エ。」から「ク。」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数について数字でご記入のうえ、仕事を休めなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

できれば仕事を休んで見たかった日数 ⇒ 日程度

仕事を休めなかった理由

1. 子どもの看護を理由に休みがとれなかった
2. 自営業なので休めなかった
3. 休暇日数が足りないので休めなかった
4. 仕事を優先せざるを得なかった
5. 仕事の性質上、代替がきかなかった（自分しかその仕事を処理できなかった）
6. 遠方に外出（出張）していた
7. その他（

）

9. あて名のお子さんの不定期な教育及び保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、この 1 年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この 1 年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり保育	日程度
2. 幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）	日程度
3. ファミリー・サポート・センター	日程度
4. トワイライトステイ	日程度
5. ベビーシッター	日程度
6. その他（ ）	日程度
7. 利用していない	

問 18 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 事業があることを知らなかった
2. 特に利用する必要がない
3. 利用したい事業がない
4. サービスの質に不安がある
5. 子どもが馴染むかどうか不安
6. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない
7. 利用手続きが煩雑で面倒
8. 利用料がかかる・高い
9. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない
10. その他（ ）

問 19 あて名のお子さんについて、家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で、年間何日くらい一時的な預かり事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用希望日数をご記入（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）のうえ、利用したい事業を①から⑥の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望	利用目的	日数（年間）
1. 利用したい		計 日程度
	ア. 家族の通院	日程度
	イ. 冠婚葬祭、学校行事	日程度
	ウ. 不定期の就労	日程度
	エ. 親の勉強、資格取得	日程度
	オ. ボランティア、地域活動	日程度
	カ. 買物、趣味の活動、リフレッシュ目的	日程度
	キ. その他（ ）	日程度
⇒利用したい事業	①一時預かり保育 ②幼稚園の預かり保育 ③ファミリー・サポート・センター ④トワイライトステイ ⑤ベビーシッター ⑥その他	
2. 利用する必要はない		

問 20 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などにより、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1 年間の対処方法		宿泊日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 子どもショートステイを利用した	泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	泊
	エ. 子どもを同行させた	泊
	オ. その他()	泊
2. なかった		

10. あて名のお子さんが主に幼稚園の年長クラスや保育園の5歳児クラスに在籍している（来年度小学校に就学予定）場合に、お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 4歳児以下の方は問24へ

問21 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「4. 学童クラブ」「7. 子どもの居場所「プレディ」」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず「17時」のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

低学年の放課後の過ごし方	週当たり希望日数
1. 自宅（近所での友人との遊びを含む）	週 日程度
2. 祖父母宅や親戚宅	週 日程度
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日程度
4. 学童クラブ（区で実施している事業）	週 日程度 →下校時から 時まで
5. 児童館（区立）※	週 日程度
6. ファミリー・サポート・センター	週 日程度
7. 子どもの居場所「プレディ」	週 日程度 →下校時から 時まで
8. 学校の放課後活動（ドッジボールクラブ等）など	週 日程度
9. その他（ ）	週 日程度

※ 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「4.」に回答

- 問 22 あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「４．学童クラブ」「７．子どもの居場所「プレディ」」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず「17 時」のように **24 時間制でご記入ください**（数字は一桁に一字）。
※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

高学年の放課後の過ごし方	週あたり希望日数
1. 自宅（近所での友人との遊びを含む）	週 日程度
2. 祖父母宅や親戚宅	週 日程度
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日程度
4. 学童クラブ（区で実施している事業）	週 日程度 →下校時から 時まで
5. 児童館（区立）※	週 日程度
6. ファミリー・サポート・センター	週 日程度
7. 子どもの居場所「プレディ」	週 日程度 →下校時から 時まで
8. 学校の放課後活動（ドッジボールクラブ等）など	週 日程度
9. その他（ ）	週 日程度

※ 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「4.」に回答

問 21 または問 22 で「4. 学童クラブ」「7. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。
⇒「4.」「5.」以外の方は問 24 へ

- 問 23 あて名のお子さんについて、土曜日やお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の「学童クラブ」、「プレディ」の利用希望はありますか。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「17 時」のように **24 時間制でご記入ください**（数字は一桁に一字）。

（１）土曜日 1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 ⇨ 時から 時まで
（２）夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中 1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 ⇨ 時から 時まで

問 21 または問 22 で「4. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 「学童クラブを利用したい」理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. プレディと比べて利用時間が長い
2. 内容が良い
3. おやつが出る
4. 連絡帳などを使って指導員と保護者のコミュニケーションが取れる
5. 児童館全体を使って遊ぶことができる
6. 施設・設備が充実している
7. 家庭的な雰囲気の中で過ごせる
8. 現在就労している
9. 就労予定がある／求職中である
10. そのうち就労したいと考えている
11. 家族・親族などを介護しなければならない
12. 病気や障害がある
13. 学生である／就学したい／資格を身につけたい
14. その他（

）

問 21 または問 22 で「7. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-2 「子どもの居場所「プレディ」を利用したい」理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 事業実施場所が自宅に近い等、便利だから
2. 児童館で行う学童クラブと比べ、移動がなく安全である
3. 内容が良い
4. 参加が自由（必要な時だけ参加できる）
5. 就労していないが、子どもの学習や遊びの環境として良いと思う
6. 現在就労している
7. 就労予定がある／求職中である
8. そのうち就労したいと考えている
9. 家族・親族などを介護しなければならない
10. 病気や障害がある
11. 学生である／就学したい／資格を身につけたい
12. その他（

）

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親	
1. 働いていなかった	⇒ 問 25 へ
2. 取得した（取得中である） ⇒ 取得期間	日 ⇒ 問 24-1 へ
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください。いくつでも）	⇒ 問 25 へ
(2) 父親	
1. 働いていなかった	⇒ 問 25 へ
2. 取得した（取得中である） ⇒ 取得期間	日 ⇒ 問 24-1 へ
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください。いくつでも）	⇒ 問 25 へ

育児休業を取得していない理由

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">1. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）2. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった3. 仕事が忙しかった4. （産休後に）仕事に早く復帰したかった5. 仕事に戻るのが難しそうだった6. 昇給・昇格などが遅れそうだった7. 収入減となり、経済的に苦しくなる8. 保育所などに預けることができた9. 配偶者が育児休業制度を利用した10. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった11. 子育てや家事に専念するため退職した12. 子育てや家事以外の理由により退職した13. 雇用形態等のため育児休業の取得要件を満たさなかった14. 育児休業を取得できることを知らなかった15. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した16. その他（ | ） |
|--|---|

問 24 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 25 へ

問 24－1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問 24-2 へ
2. 現在も育児休業中である（復職予定）	⇒ 問 24-7 へ
3. 育児休業中に退職した	⇒ 問 25 へ
(2) 父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問 24-2 へ
2. 現在も育児休業中である（復職予定）	⇒ 問 24-7 へ
3. 育児休業中に退職した	⇒ 問 25 へ

問 24－1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 24－2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問 24－3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お子さんが3歳になるまで育児休業を取得できると仮定した場合、何歳何ヶ月まで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親	
実際 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
(2) 父親	
実際 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 24－3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 24－4 希望の時期に職場復帰できなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
①母親	
1. 希望する保育所等に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	
②父親	
1. 希望する保育所等に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	
(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
①母親	
1. 希望する保育所等に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	
②父親	
1. 希望する保育所等に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 24－1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 24－5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 利用した	2. 利用しなかった
(2) 父親	
1. 利用した	2. 利用しなかった

問 24-6 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
2. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
3. 仕事が忙しかった
4. 短時間勤務にすると給与が減給され、経済的に苦しくなる
5. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
6. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
7. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他（

1. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
2. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
3. 仕事が忙しかった
4. 短時間勤務にすると給与が減給され、経済的に苦しくなる
5. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
6. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
7. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他（

問 24－7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ずお子さんを預けられる施設等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる施設等があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問 24-8 1 歳になる前に復帰したい理由は何ですか。もっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に育児休業を長く取れない雰囲気があるため
2. 仕事が忙しく、早目の復帰を求められているため
3. 仕事に早く復帰したいため
4. 昇給、昇格などが遅れそうなため
5. 収入減となり、経済的に苦しいため
6. 保育所の1歳児クラスの入所申し込みが多く、その前の入所を考えているため
7. その他（

12. あて名のお子さんの発達についてうかがいます。

本区では、発達障害を有するまたは疑いのある子どもと、その家族に対して、相談・助言や社会生活への適応力を高めるための指導・訓練などを通じて、様々な場面における生活のしづらさの軽減・解消を目的とした支援を行う「子ども発達支援センター（仮称）」の整備について検討を行っています。

今後の区の子どもの発達に関する支援の方向性や施策の資料とするため、お子さんの発達や育ち、相談先についてうかがいます。

問 25 あて名のお子さんの発達や育ちについて現時点での状況をうかがいます。①～⑫の事柄に関し、気になることまたは心配なことについて、A～Dの当てはまる記号に○をつけてください。

悩みの内容	A ない	B ある	C ときどき ある	D 過去に あったが 今はない
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」など	A	B	C	D
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」など	A	B	C	D
③性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」など	A	B	C	D
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「ささいなことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」、「突然怒る」「パニックを起こす」など	A	B	C	D
⑤行動面 例)「集中が続かない」「落ち着きがない」「気になる癖がある」など	A	B	C	D
⑥遊び方 例)「独特な遊び方をする」「遊びの時間が短い」など	A	B	C	D
⑦友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」など	A	B	C	D
⑧登園 例)「行きたがらない」「登園時に嫌がって泣いてしまう」など	A	B	C	D
⑨保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」など	A	B	C	D
⑩就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」など	A	B	C	D
⑪親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方がわからない」など	A	B	C	D
⑫その他（ ）	A	B	C	D

※上記の①から⑫までに当てはまることがあっても、子どもの発達に問題があるとは限りません。

子どもの育ちについて悩みや心配がありましたら、中央区立福祉センターの「こどもの発達相談・指導」にご相談ください。（中央区明石町 12-1 電話 3545-9311）

問 26 子どもの発達について気になることや心配なことがある場合、あなたはどこに相談しようと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	9. 子ども家庭支援センター
2. 祖父母・兄弟等の親族	10. 保健所・保健センター
3. 友人や知人	11. 福祉センター
4. 近所の人	12. 教育センター
5. 保育所・幼稚園等の他の保護者	13. 区の障害者福祉課
6. 幼稚園の園長・副園長・担任	14. 医療機関・療育機関
7. 保育所・認定こども園の園長・看護師・保育士	15. その他（ ）
8. 民生・児童委員	16. 相談先がわからない
17. どこにも相談しない	

（相談しない理由： ）

問 27 あて名のお子さんの発達や育ちの悩みについて、相談の状況をおうかがいします。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。相談先は、問 26 の選択肢から選び、番号を記入してください。

1. 現在、相談している (相談先:)

2. 現在は相談していないが過去相談していた (相談先:)

3. 現在も過去も相談していない

問 28 子どもの発達や育ちに関する問題を解決するために、どのような施策（体制づくり）を優先すべきと考えますか。3つ選んで番号に○をつけてください。

1. 乳幼児健診時の相談や保育所訪問などにより、発達障害に起因する子どもの育てにくさや、子ども自身の生きにくさを早期に発見し支援に繋げる体制	6. 相談の予約が取りやすく、実際の相談までに何日も待たせることのない支援体制
2. 発達障害のあるなしにかかわらず子どもの発達や育ちの小さな悩みでも相談ができ、子育て不安の解消となる相談支援体制	7. 臨床心理士、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など専門的な知識を持ったスタッフが対応する支援体制
3. 行動観察や発達検査の実施によって、子どもの特性をとらえて問題解決に向けて適切なアドバイスと必要な支援に繋げてくれる体制	8. 保育所・幼稚園・学校における発達に関する問題を、専門的な立場から保護者・保育所等と連携・協力して解決する相談支援体制
4. 発達に関する支援が入園時や就学児に途切れることのないよう保育所・幼稚園・学校に支援内容を繋ぎ、継続して一貫した支援を行う体制	9. 福祉・保育・教育・保健・医療にまたがる発達の相談が1カ所のできるコーディネート機能を持った相談支援体制
5. 区の広報紙、講演会、研修などを通じた保護者や地域、保育士・教員などに対する発達障害に関する理解の促進	10. 特になし
11. その他（	）

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
ご記入が済みましたらお手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）
に入れて、１１月１５日（金）までにご投函ください。